

一月二〇日

朝全体ミーティング。石山スケジュール作り。十三時明治通りコンバージョン。物件2を見て、若干の打合わせ。十三時四〇分若松氏打ち合わせ。上海のエネルギーステーションの件。及びPNビル跡地利用の件。この仕事の面白いところは一日であったという間に忙しくなったり、ヒマになってしまったりが起ることだ。十五時半野村セバスチャン打ち合わせ。十七時前全ての打合わせを終了。健さんのところから帰ってきたコルトレーンを聴く。デューク・エリントンとの共演のモノ。最初の出だしのスローバラードを、聴いた健さんが「これなんだよな。いいんだあ。」とつぶやいたのが耳に残っている。これからズーツとこれを聴くたびに思い出すんだろうな。

早稲田野球部の六車より電話あり、健をしのんで飲もうぜの件。健は逝ったが、オツとどっこい六車が残っている。大変そうだなアこれと附合うのは。しかし六車の著作「名スカウトは何故死んだか」は面白かった。イチローを発掘した名スカウト三輪田の物語なのだが、三輪田は私が学生の頃神宮の森の大スターであった。安部球場で投げる三輪田の球の速さに息を呑んだものだ。その三輪田の紹介で佐藤健はイチローに会ったのだから。十八時過仙台の結城さん来室。沖縄の件、依頼と打ち合わせ。結城さんとお目にかかるのも久し振りで、この人は全く変わらない。打ち合わせを終え、二〇時四〇分まで大久保駅前のソバ屋で食事。結城さん

の話しを聞く。二十一時二〇分世田谷村に戻る。地下で再びコルトレーン&デュークを聴く。

ベシー菅原正二よりFAX LETTER届く。誰かが彼のところへこの日記風メモを送り始めた様で、段々勝手な事を書けなくなるなあ。

一月二十一日

世田谷村にて終日作業。北九州の案がまとまるかも知れない。幾つかの仕事へのアイデアをつめる。夕方ベシーの菅原正二と電話で話した。仙台の青葉区にプラネタリウムのドームが古くなってあり、それを劇場に使い直そうという考えがあり協力しようと考えていると言う。これは面白いかも知れぬ。ドイツのグライターとこれも電話で話す。四月から早稲田で一緒のスタジオを持つので準備をしなければならぬ。チョツと面白くできるかな。安藤の修士設計が面白いものになりそうだ。独特な人材に育てば良いのだが。